

2012-2013年度 第2660地区インターアクト海外研修

インターアクト委員会 委員長
中野 秀一 (大東RC)

今年度の海外研修は、8月6日～9日まで3泊4日の行程で台湾へ行って参りました。参加者は、インターアクトクラブの生徒、顧問、提唱クラブのロータリアン他59名でした。交流先は第3510地区、高雄東北RC、高雄女子校、そして老人福祉施設の高雄仁愛之家でした。

今年度の海外研修は、例年通りの奉仕と国際理解を深める活動に、生徒達の自主・自立性を尊重する事と指導力の更なる養成に重点をおきました。自主・自立性を尊重するという点において、今年度はクラブ合同会議に各校顧問と生徒代表にも参加頂き、海外研修プログラムの企画・立案段階から生徒達の要望する老人福祉施設での奉仕内容を盛り込みました。又、指導力の更なる養成という点においては、両国生徒達の「将来の夢、就きたい職業」を自らに問いかけると共に、その内容を英語で発表し意見交換を行う事で、アジアに生きる同世代の若者が両国の特性や文化の違いに気づき、自国を愛し他国を尊重する意識の芽生えと、国際感覚溢れる将来の日本を支える人材創りとなる事を目的としました。

具体的な活動内容として、初日、関西空港にて結団式を行い、高島Gからご挨拶とお見送りをいただき無事に台湾に向けて出発いたしました。台湾の桃園国際空港に到着後、一路バスにて台北市内へ移動し、台湾の靖国神社と言われている忠烈祠で張り詰めた空気の中行われる衛兵交替式を観覧し、又、故宮博物院にて歴史ある所蔵品を鑑賞しました。その後、宿泊先ホテルにチェックインし、夕食後に河内音頭と歌の練習を行い就寝。



2日目は新幹線にて台湾南部の高雄市へ向かいました。終着駅の高雄駅では生憎の大雨でしたが、高雄女子高生徒達の暖かい出迎えを受け、一同バスにて昼食会場の夢時代デパートへ移動。ここで、6グループに分かれて両国の生徒達同士で昼食とショッピングを楽しみながら懇親を深めました。その後、高雄市指定古跡である武徳殿を訪問し、宮本武蔵を開祖とする二天一流第十一代宗家の陳信實(ちん・しんかん)先生(中興RC・元会長)の真剣による実演をご披露頂きました。歴史ある建物と日本の武道が台湾の地で今も生き永らえている事に、生徒達も日本と台湾の関係の深さに思い至った事と思います。この後、第3510地区ロバートG主催のウェルカムパーティーに出席しました。パーティーでは高島Gからの親書を渡し、バナーの交換を行うと共に生徒達の歌を披露しました。会は大いに盛り上がり、生徒達の交流により今後も日本と台湾の末永い友好関係が築けるきっかけが出来ました。

3日目は、高雄女子高校を訪問し、前述した意見交換会を行いました。その後、台湾で有名な佛教聖地である佛光山へ移動し、昼食には精進料理の招待を頂きました。そして、前述の老人福祉施設で歌の披露や施設の説明を受け、縦世代間の交流を行うことが出来ました。この日の夕食は第2660地区から感謝の意を含めたフェアウェルパーティーを開催し、高雄東北RCを始めとする多くの方々と河内音頭を踊り懇親を深める事が出来ました。

最終日は、台北市へ移動し、解団式の後に日本への帰路につきました。

総じてトラブルも無く、台湾の美味しい食事と現地の暖かいおもてなしに恵まれ、素晴らしい海外研修となりましたが、ご同行頂きました各校顧問の先生方、ロータリアンの皆様には心から感謝申し上げます。又、日頃からインターアクトの活動にご理解とご支援いただいている各RC及び地区の皆様にも心から御礼申し上げます。